

3 単元設定の理由

本学級の児童は、名と少数ではあるが、障がいの程度は様々である。時間割を基本とした個別のスケジュールに沿って活動している。A児は学年の教科書を、B児・C児は一般図書を使用している。言葉でのコミュニケーションができる児童もいれば、難しい児童もいる。言葉でのコミュニケーションが難しい児童は、絵カードなどでコミュニケーションを図っている。交流学級での学習には、担任か支援員、他の特別支援学級の担任が付き添い、活動に参加している。特別支援学級での休み時間の過ごし方は、各々が、好きな本を読んだり好きなアニメの話をしたりと、1人で好きなことをしていることが多い。交流学級の児童が支援学級に遊びに来ている時には、一緒にボールあそびなどをして仲良く遊んでいる児童がいる一方で、一方的に話をし続け、友達が困惑していることに気付けない児童もいる。このように発達段階やコミュニケーションの実態の差は大きい。そのため、教師の介入が必要になることもあるが、最近では児童同士で声をかけあったり、興味を示した友達を受け入れたりするなど、授業中、休み時間に関わらず、少しずつ人と関わろうとする姿も見られるようになってきている。

これまで本学級の生活単元学習では、身近な自然や行事に親しむ季節単元と野菜や花などを育てる栽培単元を重点的に行ってきた。運動場を散歩しながら、虫たちとのふれあいや木々の変化を感じたり、季節の行事を楽しんだりした。7月には、笹に願い事を書いた短冊をつるしたり、七夕飾りを作ったりした。栽培単元では、苗を植える時や種をまく時に、種や苗に優しく触れ、「大きくなってね。」と声をかけたり、水やりや草抜きに意欲的に取り組んだりしてきた。野菜が大きくなったら収穫し、家庭に持って帰ったり、職員に販売しに行ったりしている。職員への販売では、「お金の受け渡し」「接客」「収穫物を渡す」などの役割を決め、取り組んだ。全員で販売に行けない時には、教師も手伝いながら、取り組んだ。回数を重ねてくると、「どうぞ。」や「野菜はどうですか。」などを教師の促しがなくても自分から声をかけ、コミュニケーションをとろうとすることが増えてきている。これまでの生活単元学習において、これまでコロナ禍ということもあり、調理をするような活動は実施できなかった。そのため、工作などの個人での制作などには何度も取り組んできたが、学級の仲間と協力するような活動の経験は少ない。力を合わせて物事に取り組むことに加え、自分の役割を果たすことも「協力」であると感じてほしい。また、協力する経験を重ねることで、自分のことだけでなく、相手のことも考えた言動ができるようになってほしい。

そこで本単元では、学級の仲間と協力してできる活動を計画した。秋に収穫でき、児童の身近な野菜であるさつまいもに着目し、活動に取り入れた。まず、春にさつまいもの苗を他の支援学級とともに植えているため、学級の仲間と協力して収穫する。収穫したさつまいもを使って、見立て遊びをしたり芋ハンコを作ったりする。できたものを共有することで、他の児童のよいところを見付けられるように促す。そして、協力して調理を行い、秋の味覚であるさつまいもを堪能する。また、さつまいものツルでリースを作っておき、冬の生活単元学習であるクリスマスリース作りへと繋げていきたい。

前時までにさつまいもについて絵本や動画で知らせておき、包丁などの道具の使い方についても指導しておく。本時では、道具の使い方について簡単に説明し、すぐに調理に取りかかるようにする。安全面に配慮し、作業時間をしっかりと確保するとともに、包丁を使っている時には、児童たちから目を離さないようにする。教師は「手伝ってください」と助けを求められたら支援を行うようにする。ゆでている時間を活用し、片付けを行うようにする。この際、役割を決め、それぞれの役割を果たせるように声をかけたり支援を行ったりする。ゆであがったら、数を数えて皿に入れる活動を通して、算数科とのつながりも深めたい。協力してさつまいもを調理することを通して、楽しい雰囲気味わい、学級の仲間との交流を深めていきたい。

4 年間指導計画

時 期	単 元 名	単元の内容・ねらい
4月 5月	春をみつけよう	・運動場にある桜の下を散歩したり、春に出てくる生き物とふれあったりして楽しむ。
6月 7月	夏を感じよう	・夏の暑い日差しや気温を感じながら、水泳学習を楽しむ。七夕には、短冊を書いたり飾りを作ったりして、行事に親しむ。
9月 10月 11月	秋とあそぼう	・さつまいもの収穫を行い、様々な活動に取り組む。他の支援学級と一緒にハロウィンパーティーを計画し、実施する。また、運動場を散歩し、木々の変化を感じる。
12月 1月 2月	冬を楽しもう	・冬の寒さを感じながら、散歩を行うことで冬の訪れに気付く。校外学習へ参加し、集団行動の基礎を養う。また、冬の行事(クリスマスやお正月等)を楽しむ。

5 単元の目標

- (1) 道具の使い方について知り、安全に取り扱うことができる。 (知識及び技能)
- (2) 友達と協力したり、自分で考えたりして、秋の自然物を使った作品等を作ることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 秋の自然を感じたり秋の行事を楽しんだりする中で、友達と仲良く関わり、自分の役割をやり遂げようとすることができる。 (学びに向かう力、人間性等)

6 単元の評価規準

知識・技能	道具の使い方について知り、安全に取り扱っている。
思考・判断・表現	友達と協力したり、自分で考えたりして、秋の自然物を使った作品等を作っている。
主体的に学習に取り組む態度	秋の自然を感じたり秋の行事を楽しんだりする中で、友達と仲良く関わり、自分の役割をやり遂げようとしている。

7 指導計画「秋であそぼう」(全17時間)

秋のものをさがそう (さんぽしよう) 1時間
(いもをほろう) 1時間
秋のものであそぼう (さつまいも だいへんしん) 9時間 (本時7/9)
(あきのはっぱで だいへんしん) 3時間
秋のものでたのしもう (ハロウィンパーティーをしよう) 3時間

8 本時の目標

- (1) 安全に気を付けて、道具を使うことができる。 (知識及び技能)
- (2) 友達や教員と協力して、さつまいもを決められた数ごとに分けることができる。

(思考力、判断力、表現力)

(3) 活動を振り返り、自分の気持ちに近い選択肢を選ぶことができる。

(学びに向かう力、人間性等)

個人の目標

個人の学習目標	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の声かけを受けて、包丁を使って食材を切ることができる。 (自立活動：5- (5)、生活科：2段階-キ (イ)) ・友達と協力して、さつまいもの数を数え、皿にのせることができる。(算数科：2段階-A イ) ・活動を振り返り、自分の言葉で気持ちを伝えることができる。(自立活動：6- (2))
B	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に、包丁で食材を切ることができる。 (自立活動：5- (5)、生活科：2段階-キ (イ)) ・シートの上に指定された数のさつまいもを置き、皿にのせることができる。 (算数科：1段階-B イ) ・教師と一緒に活動を振り返り、選択肢から選ぶことができる。(自立活動：6- (4))
C	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気を付けて、包丁で食材を切ることができる。 (自立活動：5- (5)、生活科：3段階-キ (イ)) ・友達と協力して、さつまいもの数を数え、皿にのせることができる。(算数科：1段階-B イ) ・活動を振り返り、教師の声かけを受けながら、選択肢から選ぶことができる。 (自立活動：6- (2))

9 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
授業前	0 教室を移動し、身だしなみを整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・教室から持ってきた物の片付ける場所を声かけと指さしで示す。 ・手洗いと消毒をするように促す。 ・消毒をしたら何も触らないように声をかける。(T2) 		
1分	1 始めの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・C 児を指名し、挨拶するように促す。 ・姿勢ができていない場合は、姿勢を正すように声をかける。(T2) 		
4分	2 今日の活動についての話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使って、包丁の使い方や活動内容について知らせる。 ・適宜、児童に質問をし、答えることができたなら称賛する。 ・姿勢が崩れていたら、画面に注目するよう指さしや声かけ等を行い、注目するように促す。(T2) ・B 児が離席した場合は、着席を促す。(T2) 		

10分	3包丁でさつまいもを切る。	<ul style="list-style-type: none"> ・画面には、切り方を映しておき、いつでも見えるようにしておく。 ・作業の場所を伝え、そこで作業するように声をかける。 ・まな板の近くにも切り方を示した切り方カードを用意しておく。 ・安全に気をつけるように声をかける。 ・「こわい」と言ってなかなか取りかかれない時には、「大丈夫だよ。」と言って安心させ、一緒に取り組むようにする。 ・自分の切る量がわかりやすいようにあらかじめ、分けておく。 ・B児は、T2と一緒に作業するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の声かけを受けながら、包丁を安全に使うことができる。 (A) ・教師と一緒に包丁を安全に使うことができる。 (B) ・安全に気を付けて、包丁を使うことができる。 (C) 	観察
10分	4さつまいもをゆでる。(片付け)	<ul style="list-style-type: none"> ・鍋に水を入れておき、そこに切ったさつまいもを入れるよう促す。 ・C児と一緒に点火をする。 ・ゆでている間に、使った包丁を片付けさせる。 ・「スポンジ係」「水あらい係」「ふきふき係」に分かれて、包丁以外の使った道具を片付けるように指示する。 ・それぞれの係の手順書を用意しておき、作業スペースに掲示しておく。 ・ゆであがったさつまいもをあげる作業は、教師が行う。 		
5分	5さつまいもを分ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・熱いため、気を付けるように注意を促す。 ・A児とC児は、交代でさつまいもを皿に入れていくように促す。 ・数を一緒に数えるように声をかける。 ・B児は、丸が描かれたシートの上にさつまいもを置いてから、お皿に移すよう促す。(T2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して、皿の上にさつまいもを指示された数だけ入れることができる。 (A、C) ・シートを使いながら、指定された数だけ皿に入れることができ 	観察

			る。(B)	
4分	6 食べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・C 児を指名し、挨拶をするように促す。 ・味の感想などを聞きながら、楽しい雰囲気を作る。 		
10分	7 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動についてどうだったかを全体に問いかける。 ・タブレットで自分の気持ちに合う選択肢を選ぶことができるように選択肢を読み上げる。 ・C 児のそばに行き、個別に声をかける。 ・A 児を指名し、どの選択肢を選んだのかを聞き、その理由についても問うようにする。 ・B 児には個別に選択肢を読み上げ、どうだったかを問いかける。(T2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返り、自分の言葉で気持ちを言うことができる。(A) ・教師と一緒に、選択肢から選ぶことができる。(B) ・教師の声かけを受けて、選択肢から選ぶことができる。(C) 	観察 発言
1分	8 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・C 児を指名し、挨拶するように促す。 ・姿勢ができていない場合は、姿勢をするように声をかける。(T2) 		

10 環境設定

